



山陰自動車道建設促進期成同盟会



# 要望書

山陰道の早期建設について  
2008年8月5日

山陰自動車道建設促進期成同盟会  
(鳥取県・島根県・山口県)

# 山陰道の早期建設について

山陰道は、日本海沿岸諸都市を結び近畿や九州地方などとの交流を拡大し、広域的な産業・経済の振興など地域の自立的発展を図る上で不可欠な路線であります。また、急速に発展する北東アジアとの社会的、経済的な結びつきを活かし、地域の活性化を図る上でも、あるいは日本海側のフロントラインとして国家安全保障の観点においても極めて重要な路線であり、その整備は山陰地方の長年の悲願であります。

ついては、次の事項について早急かつ確実な対応を頂きますよう、ここに強く要望します。

## 要 望 事 項

- 一、山陰自動車道など法定予定路線1,520kmは、国土の根幹的かつ重要な社会資本であり、国土政策として国の責任において早期に整備を完了すること。
- 一、山陰自動車道など高速道路ネットワークが繋がっていない箇所、その整備財源を重点的に配分することが必要であり、道路特定財源の一般財源化にあたっては、地方の道路整備財源のみならず、国直轄事業に必要な財源についても確実に確保すること。
- 一、道路の「新たな整備計画」には、依然として整備が遅れている山陰道の未着手区間の早期事業化、事業中区間の着実な推進を盛り込み、**2020年を目途に山陰道全線のネットワークを完成**させること。

### 未着手区間

- 「瑞穂・青谷間」(都市計画決定済区間)
- 「出雲・多伎間」(都市計画決定済区間)
- 「大田・仁摩間」(都市計画決定済区間)

- 「温泉津・江津間」
- 「三隅・益田間」(都市計画決定手続中区間)
- 「益田・萩間」
- 「長門・下関間」

### 事業中区間

- |          |                  |           |
|----------|------------------|-----------|
| 一般国道9号   | 「鳥取西道路」          | 「北条道路」    |
|          | 「東伯・中山道路」        | 「中山・名和道路」 |
|          | 「名和・淀江道路」        |           |
| 山陰自動車道   | 「斐川IC～出雲IC(仮称)間」 |           |
| 一般国道9号   | 「多伎・朝山道路」        | 「朝山・大田道路」 |
|          | 「仁摩・温泉津道路」       | 「浜田・三隅道路」 |
|          | 「益田道路」           |           |
| 一般国道191号 | 「萩・三隅道路」         |           |

- 一、山陰道の整備手法に新直轄方式を導入するなど、地方負担の軽減を図ること。
- 一、安来道路、江津道路については、有料区間と無料区間が混在し、利用料金の割高感が強いため、利用促進が図れるよう料金設定の弾力的な運用を行うこと。

平成20年8月5日

### 山陰自動車道建設促進期成同盟会

会 長 鳥根県知事

溝 口 善 兵 衛

副会長 山口県知事

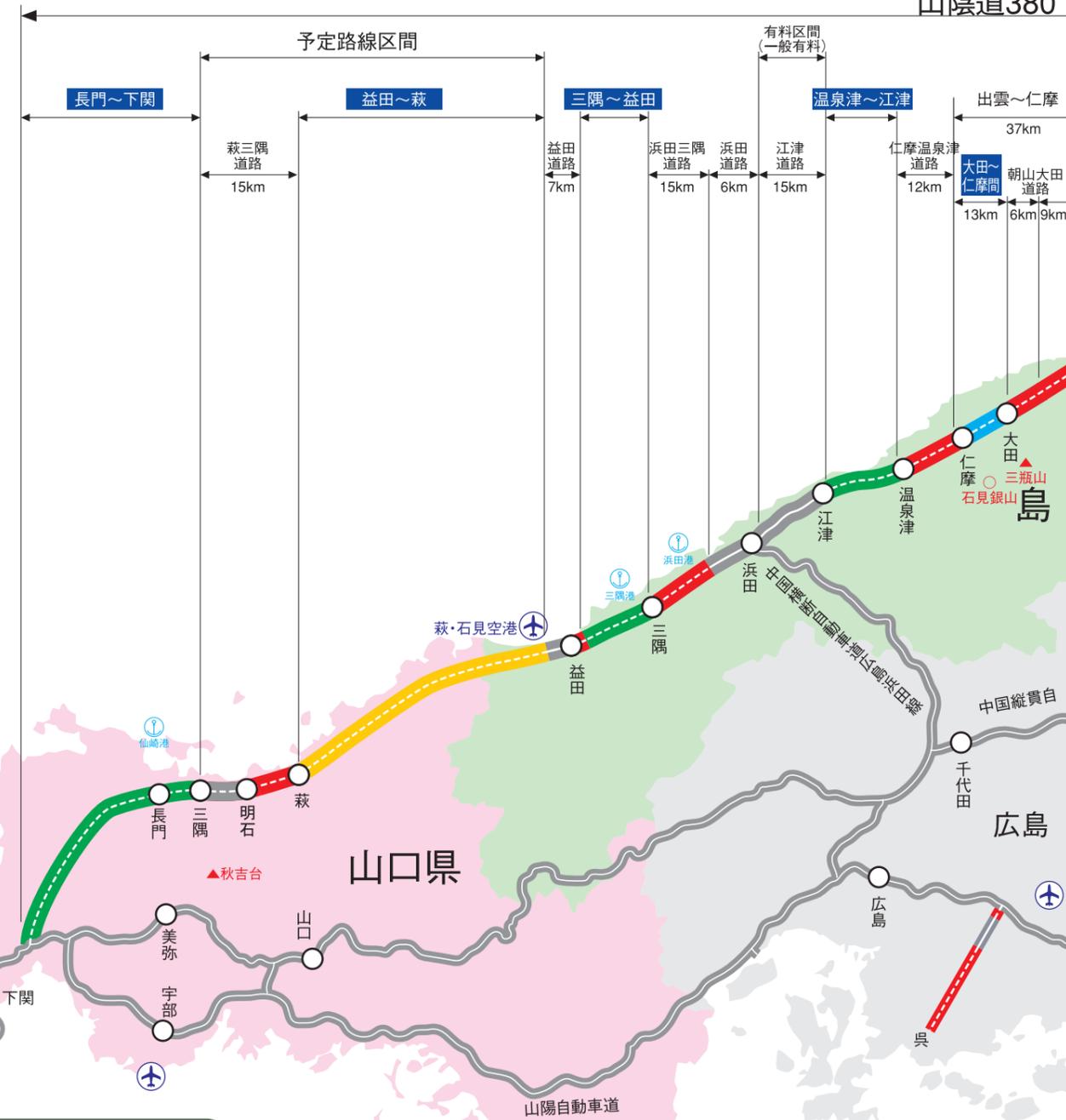
二 井 関 成

鳥取県知事

平 井 伸 治

# 山陰道

山陰道380



## 山陰道の工事状況

### 山口県



萩・三隅道路 玉江大橋

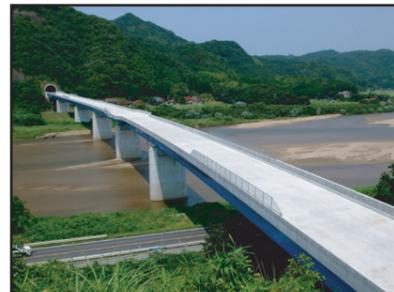


萩・三隅道路 三見IC付近

### 島根県



仁摩・温泉津道路 仁摩ICランプ橋



山陰自動車道 斐川～出雲間 斐伊川橋

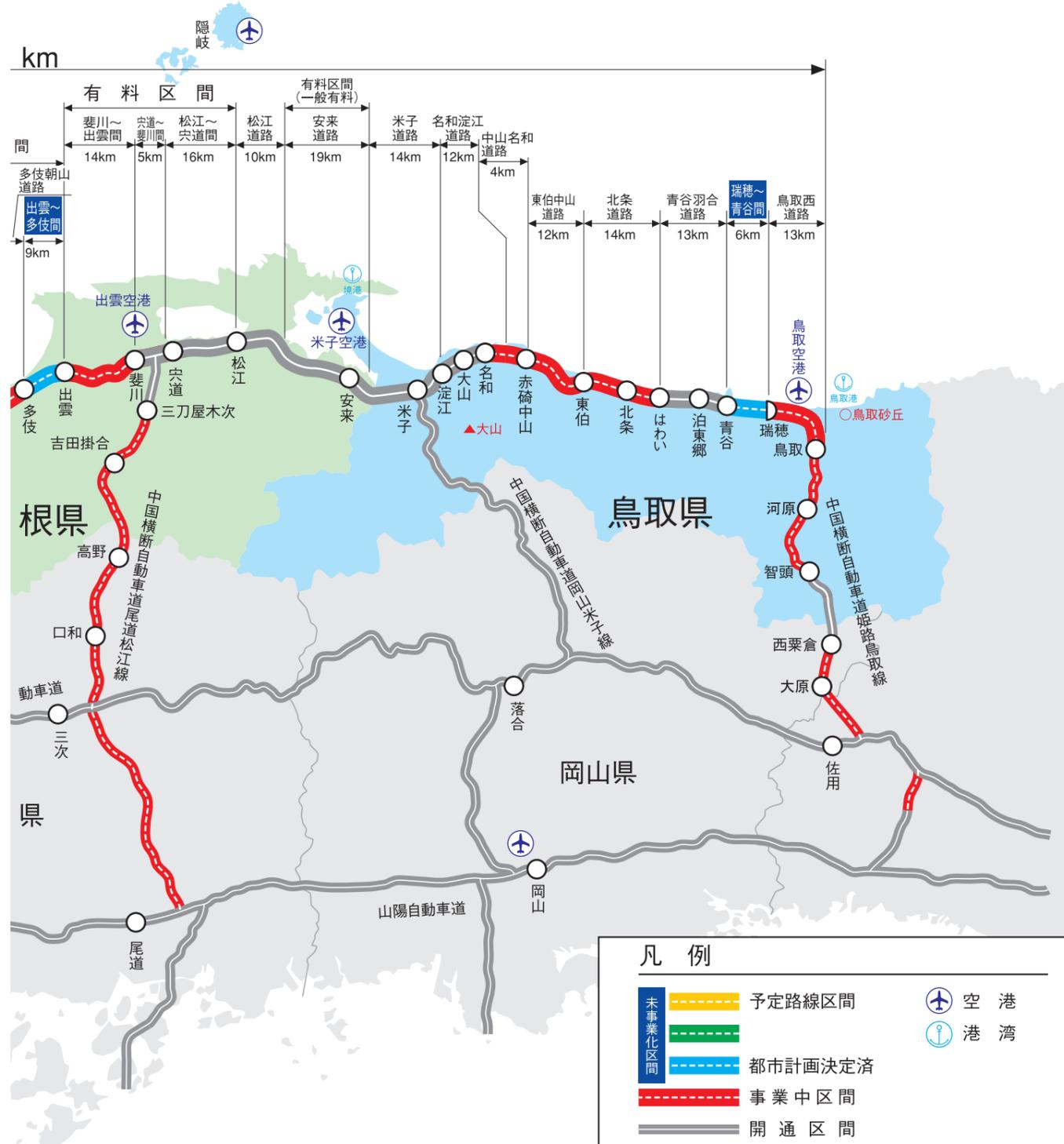
### 鳥取県



東伯・中山道路 赤碓中山高架橋



東伯・中山道路 田越改良



## 整備目標

# 遅くとも今後10年以内に 県内区間の全線供用

### 目標達成のための要望事項

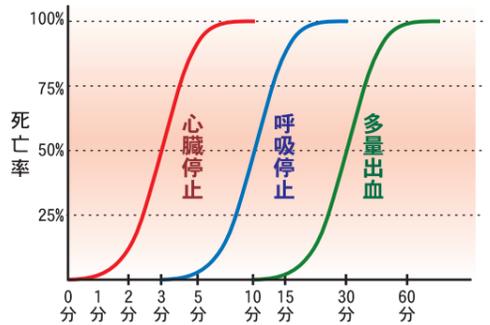
- ① 未事業化区間である瑞穂～青谷間の平成20年度事業化
- ② 事業中区間の整備促進と遅くとも10年以内の全線供用  
「鳥取西道路」「東伯・中山道路」「中山・名和道路」「名和・淀江道路」「北条道路」



### 整備が必要な背景 ① 高速道路は救急搬送に貢献

- 県内の三次医療施設は鳥取県の両端、米子市と鳥取市に位置し、県中央部は救急医療の空白地帯となっている。
- 一分一秒が生死を分ける救急搬送において、山陰道整備による搬送時間短縮が必要不可欠。

1分1秒が生死を分ける カラー曲線



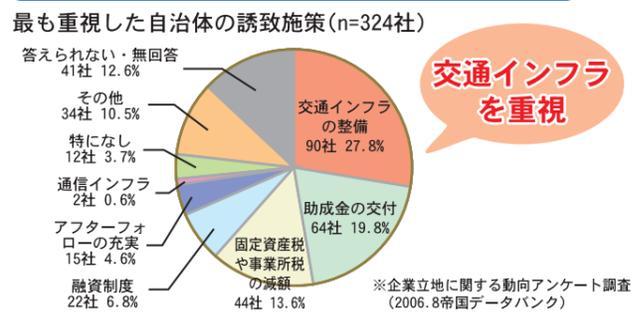
第三次医療60分カバー圏



### ② 企業進出は『無料の高速道路』が決め手

- 鳥取県内の山陰道は全線無料。県東部では、無料となる鳥取自動車道の県内区間開通が平成21年に迫り、企業進出の動きが活発化している。
- 鳥取自動車道とつながり、同様に無料である山陰道の早期開通により県全体への企業誘致に弾みがつく。

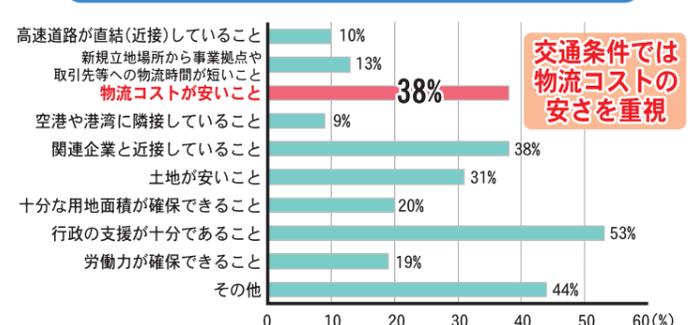
#### 立地先決定で重視した自治体の誘致施策



#### 立地に関する不満理由

不満要因	合計	選択率
交通の便 (陸路)	8	32.0
労働力の確保	6	24.0
本社への近接性	4	16.0
交通の便 (港湾、空港)	4	16.0
助成・協力体制	4	16.0
市場への近接性	3	12.0
用地面積の確保が容易	3	12.0
地価	3	12.0
原材料などの入手の利便性	2	8.0
人材の確保	2	8.0
対事業所サービス業・流通業への近接性	2	8.0
良好な住環境	2	8.0
関連企業への近接性	1	4.0
経営者などの個人的つながり	1	4.0
他企業との共同立地	1	4.0
学術研究機関の充実	1	4.0
未回答	1	4.0
その他	11	44.0
合計	25	-

#### 新たな地域に進出する場合に重視する条件



## 整備目標

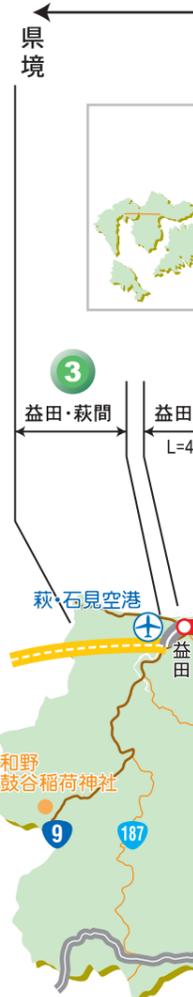
# 2020年を目途に山陰道全線のネットワーク完成

### 目標達成のための要望事項

- 1 出雲・多伎間、大田・仁摩間の平成20年度事業化
- 2 三隅・益田間の早期事業化（都市計画決定手続中）
- 3 温泉津・江津間、益田・萩間の早期事業化
- 4 事業中区間の整備促進

### 無料区間と有料区間が混在する山陰道

山陰道は無料区間と有料区間が混在しており、何度も料金ゲートを通らなければならない。さらに、有料区間については高速自動車国道と一般有料道路が混在しており、料金に対する負担感が大きい。（米子道から山陰道経由で浜田道まで利用すると、5回分のターミナルチャージ相当額を徴収されることとなる。）



### 整備が必要な背景

#### 1 命を守るための必要最低限の施設

- 医師不足、医療機関の偏在により、命を守るためにも道路整備は不可欠。
- 県内の東西を結ぶ幹線道路は国道9号のみ。事故、災害で通行止めになると命を守ることも出来ない。
- 救急患者の搬送時間短縮と安静な搬送には、山陰道の整備が不可欠。

#### 第三次救急医療機関への30分圏域



#### 2 観光ネットワークの形成が急務

- 昨年7月、石見銀山遺跡が世界遺産登録された。県外からたくさんの観光客が訪れているが、「飛行機は短時間で着くのに、空港から石見銀山までの時間がかかりすぎる」など交通の便の悪さを指摘されている。
- 県外からたくさんの人に来てもらい、出雲大社、アラス等山陰のいいところをたくさん見てもらうには、山陰道が絶対必要。



#### 山陰道の整備効果



松江市から石見銀山遺跡のある大田市まで **25分短縮**

## 整備目標

# 概ね10年後を目途に 県内山陰道のネットワークの機能を確保

### 目標達成のための要望事項

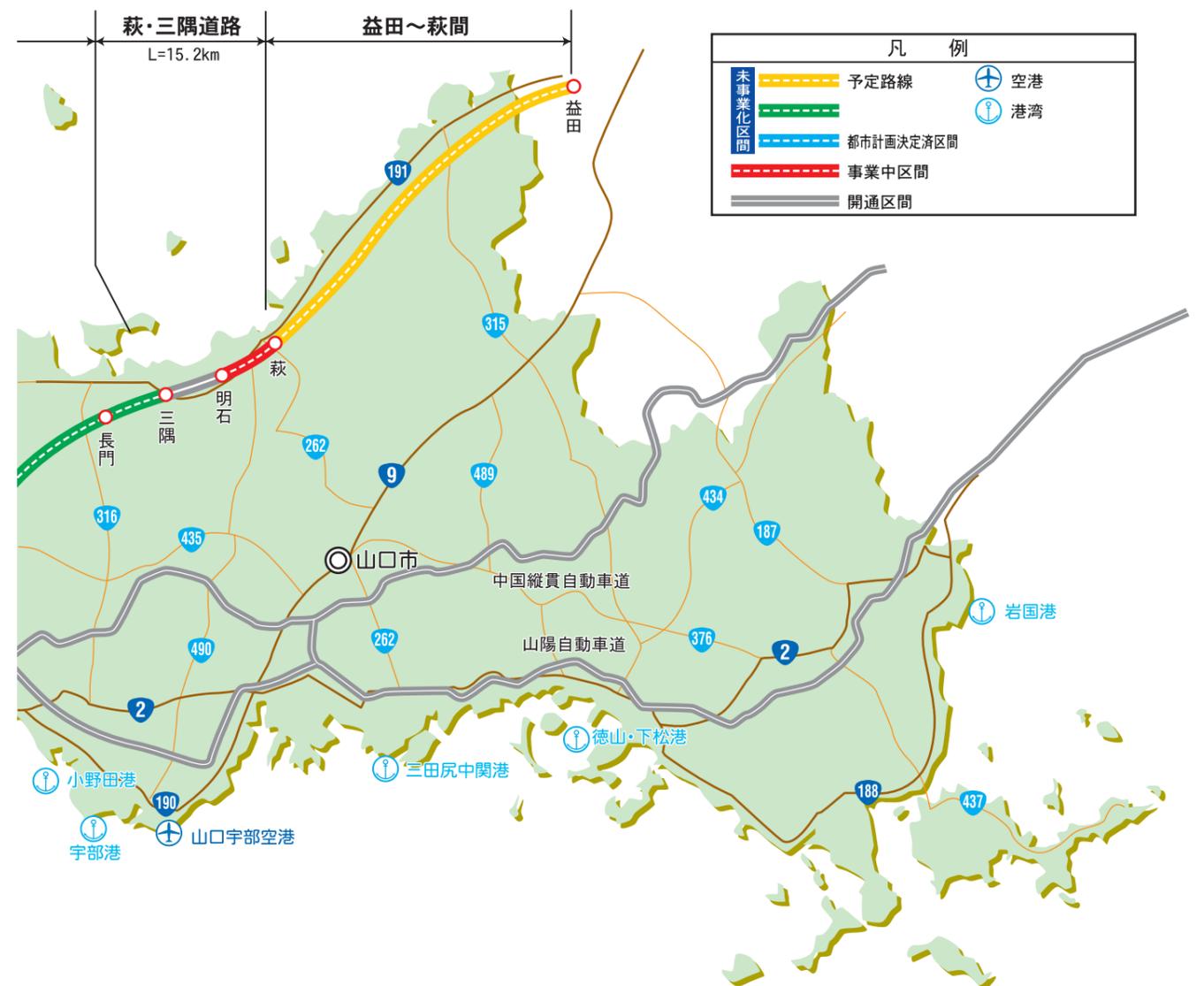
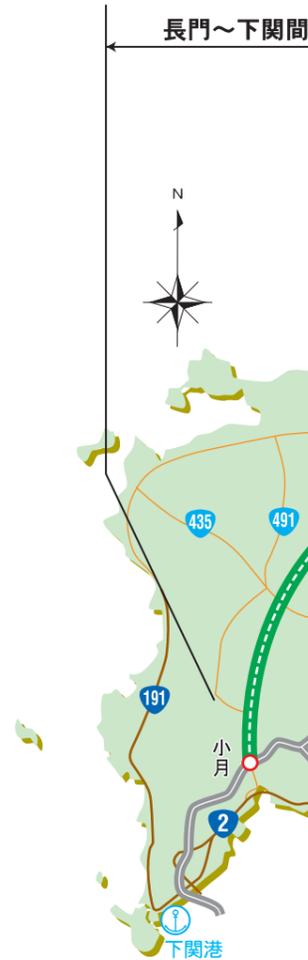
- 益田～萩間の早期事業化
- 国道191号萩・三隅道路の建設促進
- 長門～下関間の早期事業化

### 整備が必要な背景

#### 1 山口県固有の課題である陰陽格差の是正

- 山口県の山陰側は、「高速道路なし」、「新幹線なし」、「在来線は鈍行のみ」といった状況であり、山陽側と比べて圧倒的に交通体系にハンディを背負っている。
- 県内の三次医療施設は山陰側にはなく、すべて山陽側にあるため、高度な医療を受けるためには、山陽側に頼らざるを得ない。
- 大雨による通行規制の解消、観光や地場産業の振興、少子高齢化対策などたくさんの課題が山積している。

山陰道の早期整備は、陰陽の交通体系の格差によるハンディの解消など、これら諸課題の解決のためにも必要不可欠である。



#### 2 観光を主軸とした地域活性化戦略

- 地域活性化には、山陰道のような速い道路と、地域をゆったり楽しむことができる遅い道路の組み合わせが観光振興の面からも重要。

##### 山陰地域活性化へ向けての一方

##### ●観光を主軸とした地域活性化戦略



##### 地域資源の活用・PR

北長門海岸国定公園  
関門海峡  
城下町萩

